

## メトラクロール (案)

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく新規製剤の農薬登録申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品中の農薬等のポジティブリスト制度導入時に新たに設定された基準値（いわゆる暫定基準）の見直しを含め、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告をとりまとめるものである。

## 1. 概要

## (1) 品目名：メトラクロール [ Metolachlor (ISO) ]

(注) 本化合物には2種の光学異性体 (S体及びR体) が存在するが、ラセミ体は既に「メトラクロール」として国内における農薬登録がなされている。今回、活性成分であるS体の比率を高めた\*「S-メトラクロール [S-metolachlor (ISO)]」について新たに農薬登録申請がなされた。

(※原体の規格としてS体の含有量が80%以上)

## (2) 用途：除草剤

メトラクロールは酸アミド系の除草剤である。超長鎖脂肪酸の合成阻害作用により、植物の生長部位での正常な細胞分裂を阻害することによって、植物を枯死させると考えられている。

## (3) 化学名

## ・S体

(*aRS, 1S*)-2-chloro-6'-ethyl-*N*-(2-methoxy-1-methylethyl)acet-o-toluidide (IUPAC)  
2-chloro-*N*-(2-ethyl-6-methylphenyl)-*N*-[(1*S*)-2-methoxy-1-methylethyl]acetamide  
(CAS)

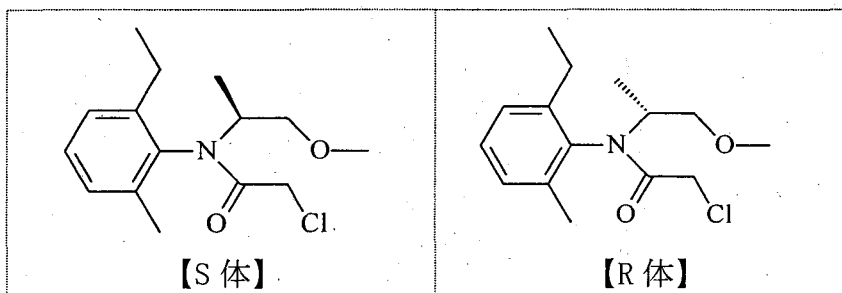
## ・R体

(*aRS, 1R*)-2-chloro-6'-ethyl-*N*-(2-methoxy-1-methylethyl)acet-o-toluidide (IUPAC)  
2-chloro-*N*-(2-ethyl-6-methylphenyl)-*N*-[(1*R*)-2-methoxy-1-methylethyl]acetamide  
(CAS)

## ・Metolachlor

2-chloro-6'-ethyl-*N*-(2-methoxy-1-methylethyl)acet-o-toluidide (IUPAC)  
2-chloro-*N*-(2-ethyl-6-methylphenyl)-*N*-[2-methoxy-1-methylethyl]-acetamide  
(CAS)

(4) 構造式及び物性



分子式	$C_{15}H_{22}ClNO_2$
分子量	283.8
水溶解度	488mg/L (25°C) (ラセミ体) 480mg/L (25°C) (S-メトラクロール)
分配係数	$\log_{10}P_{ow} = 3.0$ (25°C) (ラセミ体) $\log_{10}P_{ow} = 3.05$ (S-メトラクロール)

(メーカー提出資料より)

2. 適用の範囲及び使用方法

本薬の適用の範囲及び使用法は以下のとおり。

なお、**製剤名**となっているものは、今回農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく新規の登録申請が行われたものを示している。

(1) 国内での使用方法

① 45%メトラクロール乳剤

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	メトラクロールを含む農薬の総使用回数							
				薬量	希釈水量											
とうもろこし	畑地一年生イネ科雑草	本葉1-2葉期(イネ科雑草2葉期まで)	砂壤土～埴土	200～400 ml/10a	70～100 L/10a	1回	全面土壌散布	北海道	1回							
		は種後発芽前(雑草発生前)														
かんしょ	畑地一年生イネ科雑草	挿苗後但し、収穫90日前まで(雑草発生前)											全面土壌散布	全域	1回	
えだまめ(移植栽培)		定植前(雑草発生前)										北海道東北				
えだまめ(直播)		は種後発芽前(雑草発生前)														
だいず																
らっかせい																
いんげんまめ																
さやいんげん		定植後但し、収穫90日前まで(雑草発生前)														
てんさい(移植栽培)																
てんさい(直播栽培)	畑地一年生イネ科雑草	は種後出芽揃期(雑草発生前)		200～300 ml/10a			畦間株間土壌散布	全域								
キャベツ	畑地一年生雑草	定植直後～定植15日後まで(雑草発生前)		100～200 ml/10a			畦間株間土壌散布									
作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯								
だいこん	畑地一年生雑草	は種直後(雑草発生前)	砂壤土～埴土	100～200 ml/10a	70～100 L/10a	1回	全面土壌散布	全域	1回							
にんじん																
ぼれいしょ		植付後萌芽前(雑草発生前)						300～400 ml/10a		全域						
こんにやく		植付後又は培土後萌芽前(雑草発生前)														
さといも	畑地一年生雑草	植付後萌芽前(雑草発生前)		200～400 ml/10a			全域									
かぶ		は種直後(雑草発生前)		100～200 ml/10a												

② 30.0%メトラクロール・20.0%プロメトリン水和剤

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	トリアプロメトリンを含む農薬の総使用回数	メトラクロールを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量					
とうもろこし	一年生雑草	は種後発芽前 (雑草発生前)	砂壤土 ～ 埴土	300～400 g/10a	70～100 L/10a	1回	全面 土壌 散布	北海道	1回	1回
えだまめ								全域		
だいず								北海道		
さやいんげん								北海道		
いんげんまめ								関東以西	2回以内	
べごばないんげん								全域		
らっかせい										
にんじん										
たまねぎ	定植活着15日 後(雑草発生 前)または中 耕除草後但し 収穫90日前 まで(雑草発 生前)			200～300 g/10a	70～100 L/10a		北海道	1回		
やまのいも	植付後萌芽前 (発生初期)			300～400 g/10a	100 L/10a	1回	全面 土壌 散布	全域	1回	
	萌芽後 (イ科雑草 2葉期まで)									

③ 27.6%メトラクロール・18.4%アトラジン水和剤

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	アトラジンを 含む農薬の 総使用回数	メトラクロールを 含む農薬の 総使用回数
			薬量	希釈水量				
とうもろこし	畑地一 年生雑 草	マルチ前・は種前 (雑草発生前)	200～400 ml/10a	70～100 L/10a	1回	全面 土壌 散布	1回	1回
		は種後発芽前 (雑草発生前)						
		生育期 (とうもろこし 2～4葉期)						
うど		定植後萌芽前 (根株養成圃) (雑草発生前)	400 ml/10a	100 L/10a				

④ 83.7%S-メトクロール乳剤

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	S-メトクロールおよびメトクロールを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量				
とうもろこし	一年生雑草	播種後発芽前 (雑草発生前)	70~130 mL/10a	70~ 100 L/10a	1回	全面 土壌 散布	全域	1回
かんしょ		挿苗後但し収穫90日 前まで(雑草発生前)						
えだまめ		播種後発芽前 (雑草発生前)						
だいず								
らっかせい								
いんげんまめ								
さやいんげん		定植後但し収穫90日 前まで(雑草発生前)	70~100 mL/10a			北海道 東北		
てんさい (移植栽培)		定植直後~ 定植15日後まで (雑草発生前)	40~ 60 mL/10a			畦間 株間 土壌 散布	全域	
キャベツ		植付後萌芽前 (雑草発生前)	100~ 130 mL/10a			全面 土壌 散布	東北	
ばれいしょ		植付後または培土 後萌芽前 (雑草発生前)				全面 土壌 散布	全域	
こんにゃく								

⑤ 26.4%S-メトクロール・27.8%アトラジン水和剤

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	アトラジンを含む農薬の総使用回数	S-メトクロールおよびメトクロールを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量				
とうもろこし	一年生雑草	マルチ前・は種前 (雑草発生前)	140 ~ 260 mL/ 10a	70 ~ 100 L/10a	1回	全面 土壌 散布	1回	1回
		は種後発芽前 (雑草発生前)						
		生育期 (とうもろこし 2~4葉期)						

## (2) 海外での使用方法

(米国)

作物名	剤型	使用量	使用時期	使用方法	年間総使用量/ 回数
とうもろこし	83.7%S-メトラク ロール乳剤	1.0~ 2.0pts./A	播種前または出芽前	土壌処理	—
		2.0pts./A	播種後、とうもろこし 40インチまで	散布	3.9pts./A
	82.4%S-メトラク ロール乳剤	1.0~ 2.0pts./A	播種前または出芽前	土壌処理	—
		2.0pts./A	播種後、とうもろこし 40インチまで	散布	3.9pts./A
ソルガム	83.7%S-メトラク ロール乳剤	1.33~ 1.67pts./A	播種前2週間前まで	土壌処理	—
		1.0~1.67 pts./A	播種前または出芽前	散布	1回
	82.4%S-メトラク ロール乳剤	1.33~ 1.67pts./A	播種前2週間前まで	土壌処理	—
		1.0~1.67 pts./A	播種前または出芽前	散布	1回
だいず	83.7%S-メトラク ロール乳剤	1.67~ 2.0pts./A	播種前 (秋処理)	散布	2.6pts./A
		1.67~2.0 pts./A	播種前 (春処理)	散布	
		1.0~2.0 pts./A	播種前または出芽前	土壌処理	
		1.0~1.33 pts./A	播種後 PHI 90日	散布	
	82.4%S-メトラク ロール乳剤	1.67~2.0 pts./A	播種前 (秋処理)	散布	2.5pts./A
		1.0~2.0 pts./A	播種前または出芽前	土壌処理	
		1.0~1.33 pts./A	播種後、 PHI 90日	散布	*
豆類	83.7%S-メトラク ロール乳剤	1.67~2.0 pts./A	播種前 (秋処理)	土壌処理	2.0 pts./A
		1.0~2.0 pts./A	播種前または 出芽前	土壌処理	

豆類	82.4%S-メトラ クロール乳剤	1.67~2.0 pts./A	播種前 (秋処理)	土壌処理	2.0 pts./A
		1.0~2.0 pts./A	播種前または 出芽前	土壌処理	
らっかせい	83.7%S-メトラ クロール乳剤	1.0~1.33 pts./A	播種前	土壌処理	—
			播種前または 出芽前	土壌処理	—
		レイ-バイ処理 PHI90日		—	
	1.33~2.0 pts./A**	出芽前	土壌処理	—	
	82.4%S-メトラ クロール乳剤	0.8~1.33 pts./A	播種前または 出芽前	土壌処理	—
		1.33~2.0 pts./A**	出芽前	土壌処理	—
ばれいしょ	83.7%S-メト ラクロール 乳剤	1.0~2.0 pts./A	植付前 PHI60日	土壌処理	1回
		1.0~2.6 pts./A	萌芽前 PHI60日	散布	
		1.67 pts./A	土寄せ後処理または レイ-バイ処理 PHI40日		3.6pts/A
	82.4%S-メト ラクロール 乳剤	1.0~2.0 pts./A	植付前 PHI60日	土壌処理	1回
1.0~2.5 pts./A		萌芽前 PHI60日	散布		
てんさい	83.7%S-メト ラクロール 乳剤	1.0~1.67 pts./A	出芽後 てんさい1葉期 後 PHI60日	散布	2.67pts/A
西洋わさび	83.7%S-メト ラクロール 乳剤	1.0~1.33 pts./A	播種後出芽前	散布	1回
トマト	83.7%S-メト ラクロール 乳剤	1.0~1.67 pts./A	播種前または移 植前 PHI60日	土壌処理	1.67pts./A
			トマト4葉期 PHI60日	散布	
		1.67~2.0 pts./A	播種前または移 植前 PHI90日	土壌処理	2.0 pts./A

トマト	83.7%S-メトラクロール乳剤	1.67~2.0 pts./A	トマト4葉期 PHI90日		散布	2.0 pts./A
かぼちゃ	83.7%S-メトラクロール乳剤	1.0~1.33 pts./A	出芽前 PHI30日		散布	—
ひまわり	83.7%S-メトラクロール乳剤	1.0~2.0 pts./A	播種前または 出芽前		土壌処理	—
べにばな	83.7%S-メトラクロール乳剤	1.0~2.0 pts./A	播種前または 出芽前		土壌処理	—
綿	83.7%S-メトラクロール乳剤	0.5~1.33 pts./A	出芽前	エリア 1, 2***	散布	—
		1.0~1.33 pts./A	播種前	エリア 2***	土壌処理	—
		1.0~1.33 pts./A	出芽後 PHI 80日	エリア 3, 4***	散布	—
		0.5~1.33 pts./A		エリア 5***		—
	82.4%S-メトラクロール乳剤	0.5~1.33 pts./A	出芽前	エリア 1, 2***	散布	—
		1.0~1.33 pts./A	播種前	エリア 2***	土壌処理	—
ルバーブ	83.7%S-メトラクロール乳剤	0.67~1.33 pts./A	出芽前 PHI62日		散布	1回

\*その他の使用時期との併用不可

\*\*南東部における Florida beggarweed の管理のみ

\*\*\*使用地帯:

エリア1; AR, KS, LA, MS, TN および Bootheel (MO)

エリア2; NM, OK および TX

エリア3; VA, NC, SC, GA, FL および AL

エリア4; TX, OK, NM, AZ, CA および AR の一部

エリア5; TN, AR, KS, MS, MO および LA

### カナダ国

作物名	剤型	使用量	使用時期	使用方法	本剤の使用回数
かぶ (カナダ東部のみ)	915g/L 乳剤	1.25~1.75L/ha	播種前	土壌混和散布	-
			発芽前	散布	-



トマト	915g/L 乳剤	1.25~1.75L/ha	移植前	土壌混和散布	1回
ベルペッパー	915g/L 乳剤	1.15~1.25L/ha	出芽後、移植前 48時間以内処理、雑草発生前、 PHI80日	散布	-
りんご なし もも アプリコット プラム チェリー	915g/L 乳剤	1.25~1.75L/ha	移植後、雑草発生前	散布	1回

オーストラリア国

作物名	剤型	使用量	使用時期	使用方法	本剤の使用回数
小麦	960g/L 乳剤	150~250mL/ha	は種後出芽前、 雑草発生前	散布	1回
大麦	960g/L 乳剤	375~500mL/ha	は種後出芽前、 雑草発生前	散布	1回
かんしょ	960g/L 乳剤	1.5L/ha	移植後 雑草発生前	散布	—
さとうきび	960g/L 乳剤	1.1~1.45L/ha	出芽前 または出芽後	散布	1回
メキャベツ	960g/L 乳剤	1.5~2L/ha	移植後	散布	1回
カリフラワー	960g/L 乳剤	1.5~2L/ha	移植後	散布	1回
ブロッコリー	960g/L 乳剤	1.5~2L/ha	移植後	散布	1回
なたね	960g/L 乳剤	0.15~0.25L/ha	は種後出芽前、 雑草発生前	散布	—

EU

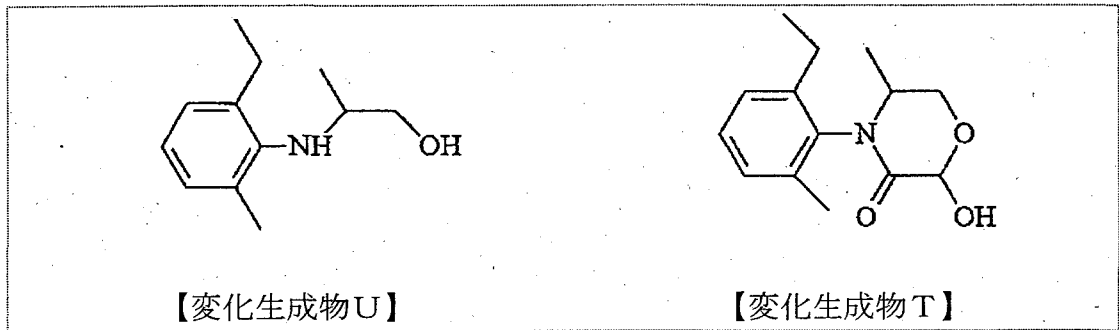
作物名	使用量	使用時期	使用方法	本剤の使用回数	年間総使用量
はくさい	1200 g ai/ha	—	散布	1回	—
チコリ	576 g ai/ha	—	散布	3回	1248 g ai/ha
いちご	672 g ai/ha	—	散布	2回	—
	1536 g ai/ha	—	散布	1回	—
なたね	1536 g ai/ha	—	散布	1回	—
あまに	1536 g ai/ha	—	散布	1回	—

### 3. 作物残留試験

#### (1) 分析の概要

##### ① 分析対象の化合物

- ・ メトラクロール
- ・ S-メトラクロール
- ・ 2-(2-エチル-6-メチル-フェニルアミノ)-プロパン-1-オール  
(以下、変化生成物U)
- ・ 4-(2-エチル-6-メチル-フェニル)-2-ヒドロキシ-5-メチル-モルホリン-3-オン  
(以下、変化生成物T)



##### ② 分析法の概要

###### メトラクロール：

試料からアセトンで抽出し、溶媒留去後、n-ヘキサンに転溶。脱水、濃縮後、フロリジルミニカラムまたはシリカゲルミニカラムで精製、または、n-ヘキサン転溶の代わりに多孔性ケイソウ土カラムで精製し、ガスクロマトグラフ (NPD (FTD)) で定量する。

###### 変化生成物U：

試料を塩酸で加熱分解し、生成した変化生成物Uを水・ジクロロメタンで液々分配し水相を分取する。この水相をアルカリ性で水蒸気蒸留を行い、ヘキサンに捕集し、含水塩基性アルミナカラムで精製後、ガスクロマトグラフ (NPD (FTD)) で定量する。なお、分析値は親化合物換算値で示す。また、メトラクロールは加水分解により変化生成物Uに変換される。

###### 変化生成物T：

試料を塩酸で加熱分解し、生成した変化生成物Tを水・ジクロロメタンで液々分配しジクロロメタン相を分取する。このジクロロメタン相を炭酸ナトリウム溶液で洗浄し、含水塩基性アルミナカラムで精製し、2-クロロエタノールでクロロエチルエーテル化し、フロリジカラムで精製後、ガスクロマトグラフ (NPD (FTD)) で定量する。なお、分析値は親化合物換算値で示す。

定量限界:

メトラクロール : 0.005~0.05 ppm

変化生成物U及びT : 0.01 ppm

## (2) 作物残留試験結果

実施された作物残留試験の結果の概要については、別紙1にまとめた。

## 4. ADIの評価

食品安全基本法(平成15年法律第48号)第24条第1項第1号の規定に基づき、平成15年7月1日付け厚生労働省発食安第071015号及び同法第24条第2項の規定に基づき、平成20年6月17日付け厚生労働省発食安第0617001号により食品安全委員会あて意見を求めたメトラクロールに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量 : 9.7 mg/kg 体重/日

(動物種) イヌ

(投与方法) 混餌

(試験の種類) 慢性毒性試験

(期間) 1年間

安全係数 : 100

ADI : 0.097 mg/kg 体重/day

## 5. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。米国、カナダ、欧州連合(EU)、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国において、豆類、ひまわりの種子、卵、乳等に、カナダにおいてりんご、桃等に、欧州連合(EU)においてばちコリ、いちご等に、オーストラリアにおいて大麦、小麦、かんしょ等に基準が設定されている。

## 6. 基準値案

### (1) 残留の規制対象

メトラクロール（S体とR体の和とする。）

なお、米国の基準にあつては、規制対象物質を、メトラクロール及びその変化生成物U及びTの和としているが、一部の作物について親化合物及び両変化生成物を分析した結果によれば、いずれも定量限界未満であつたことから、規制対象物質としては、メトラクロール（S体とR体の和とする。）とした。

また、食品安全委員会による食品健康影響評価においては、暴露評価対象物質としてメトラクロール（親化合物のみ）を設定している。

### (2) 基準値案

別紙2のとおりである。

### (3) 暴露評価

各食品について基準値案の上限までメトラクロールが残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量（理論最大1日摂取量（TMDI））のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全く無いとの仮定の下におこなつた。

	TMDI/ADI (%) <sup>注)</sup>
国民平均	1.5
幼小児（1～6歳）	3.1
妊婦	1.3
高齢者（65歳以上）	1.5

注) TMDI試算は、基準値案×各食品の平均摂取量の総和として計算している。

(4) 本剤については、平成17年11月29日付け厚生労働省告示第499号により、食品一般の成分規格7に食品に残留する量の限度（暫定基準）が定められているが、今般、残留基準の見直しを行うことに伴い、暫定基準は削除される。

メトラクロール 作物残留試験一覧表

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 【メトラクロール/変化生成物T/変化生成物 U】	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
とうもろこし (未成熟子実)	2	45%メトラクロール乳剤	500mL/10a散布	1回	105日 99日	圃場A:<0.01/-/- (#) 圃場B:<0.01/-/- (#)	
とうもろこし (未成熟子実)	2	45%メトラクロール乳剤	400mL/10a散布	1回	92日 84日	圃場A:<0.01/-/- 圃場B:<0.01/-/-	
とうもろこし (未成熟子実)	2	45%メトラクロール乳剤	400mL/10a散布	1回	118日 101日	圃場A:<0.01/-/- 圃場B:<0.01/-/-	
とうもろこし (未成熟子実)	2	45%メトラクロール乳剤	400mL/10a散布	1回	67日 70日	圃場A:<0.005/-/- 圃場B:<0.005/-/-	
とうもろこし (未成熟子実)	2	83.7%S-メトラクロール乳剤	150mL/10a散布	1回	67日 70日	圃場A:<0.005/-/- (#) 圃場B:<0.005/-/- (#)	
とうもろこし (乾燥子実)	2	45%メトラクロール乳剤	500mL/10a散布	1回	139日 138日	圃場A:<0.01/-/- (#) 圃場B:<0.01/-/- (#)	
とうもろこし (乾燥子実)	2	45%メトラクロール乳剤	400mL/10a散布	1回	124日 100日	圃場A:<0.01/-/- 圃場B:<0.01/-/-	
とうもろこし (乾燥子実)	2	45%メトラクロール乳剤	400mL/10a散布	1回	150日 117日	圃場A:<0.01/-/- 圃場B:<0.01/-/-	
とうもろこし (乾燥子実)	2	45%メトラクロール乳剤	450mL/10a散布	1回	105日 105日	圃場A:<0.005/-/- (#) 圃場B:<0.005/-/- (#)	
とうもろこし (乾燥子実)	2	83.7%S-メトラクロール乳剤	150mL/10a散布	1回	105日 105日	圃場A:<0.005/-/- (#) 圃場B:<0.005/-/- (#)	
とうもろこし (子実)	2	45%メトラクロール乳剤	400mL/10a散布	1回	84日 110日	圃場A:-/<0.01/<0.01 圃場B:-/<0.01/<0.01	
とうもろこし (子実)	2	45%メトラクロール乳剤	400mL/10a散布	1回	84日 101日	圃場A:-/<0.01/<0.01 圃場B:-/<0.01/<0.01	
とうもろこし (乾燥子実)	2	45%メトラクロール乳剤	400mL/10a散布	1回	124日 100日	圃場A:-/<0.01/<0.01 圃場B:-/<0.01/<0.01	
とうもろこし (乾燥子実)	2	45%メトラクロール乳剤	400mL/10a散布	1回	150日 117日	圃場A:-/<0.01/<0.01 圃場B:-/<0.01/<0.01	
だいず (乾燥子実)	2	45%メトラクロール乳剤	500mL/10a散布	1回	136日 105日	圃場A:<0.005/-/- (#) 圃場B:<0.005/-/- (#)	
えだまめ (未成熟のさや付き 豆)	2	45%メトラクロール乳剤	500mL/10a散布	1回	109日 80日	圃場A:<0.005/-/- (#) 圃場B:<0.005/-/- (#)	
えだまめ (移植栽培 (さや)	2	45%メトラクロール乳剤	400mL/10a散布	1回	66日 86日	圃場A:<0.01/-/- 圃場B:<0.01/-/-	
らっかせい (子実)	2	45%メトラクロール乳剤	500mL/10a散布	1回	117日 142日	圃場A:<0.01/-/- (#) 圃場B:<0.01/-/- (#)	
いんげんまめ (さやいんげん)	2	45%メトラクロール乳剤	400mL/10a散布	1回	71日 72日	圃場A:<0.01/-/- 圃場B:<0.01/-/-	
いんげんまめ (乾燥子実)	2	45%メトラクロール乳剤	400mL/10a散布	1回	108日 106日	圃場A:<0.01/-/- 圃場B:<0.01/-/-	
あずき (乾燥子実)	2	30%メトラクロール水和剤	400g/10a散布	1回	133日 120日	圃場A:<0.01/-/- (#) 圃場B:<0.01/-/- (#)	
ばれいしょ (塊茎)	2	45%メトラクロール乳剤	400mL/10a散布	1回	121日 96日	圃場A:<0.01/-/- (#) 圃場B:<0.01/-/- (#)	
かんしょ (可食部)	2	45%メトラクロール乳剤	500mL/10a散布	1回	111、153日 93日	圃場A:<0.01/-/- (#) 圃場B:<0.01/-/- (#)	
こんにゃくいも (球茎)	2	45%メトラクロール乳剤	400mL/10a散布	1回	152日 135日	圃場A:<0.01/-/- 圃場B:<0.01/-/-	
さといも (球茎)	2	45%メトラクロール乳剤	400mL/10a散布	1回	175日 179日	圃場A:<0.01/-/- 圃場B:<0.01/-/-	

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 【メトラクロール/変化生成物T/変化生成物 U】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
やまのいも (塊茎)	2	30%メトラクロール水和剤	400g/10a散布	1回	112、120日 180日	圃場A:<0.005/-/- 圃場B:<0.005/-/-
てんさい (根部)	2	45%メトラクロール乳剤	400mL/10a散布	1回	155日 154日	圃場A:<0.005/-/- 圃場B:<0.005/-/-
てんさい (葉) (参考)	2	45%メトラクロール乳剤	400mL/10a散布	1回	155日 154日	圃場A:<0.005/-/- 圃場B:<0.005/-/-
てんさい (根部)	2	12%メトラクロール乳剤	500mL/10a散布	1回	91日 91日	圃場A:<0.01/-/- (#) 圃場B:<0.01/-/- (#)
てんさい (根部)	2	12%メトラクロール乳剤	500mL/10a散布	2回	89、113日 88、118日	圃場A:<0.01/-/- (#) 圃場B:<0.01/-/- (#)
てんさい (葉) (参考)	2	12%メトラクロール乳剤	500mL/10a散布	1回	91日 91日	圃場A:<0.01/-/- (#) 圃場B:<0.01/-/- (#)
てんさい (葉) (参考)	2	12%メトラクロール乳剤	500mL/10a散布	2回	89、113日 88、118日	圃場A:<0.01/-/- (#) 圃場B:<0.01/-/- (#)
てんさい (根部)	2	45%メトラクロール乳剤	400mL/10a散布	1回	90日 90日	圃場A:<0.01/-/- 圃場B:<0.01/-/-
だいこん (根部)	2	45%メトラクロール乳剤	300mL/10a散布	1回	54日 64日	圃場A:<0.005/-/- (#) 圃場B:<0.005/-/- (#)
だいこん (葉部)	2	45%メトラクロール乳剤	300mL/10a散布	1回	54日 64日	圃場A:<0.005/-/- (#) 圃場B:<0.005/-/- (#)
かぶ (葉部)	2	45%メトラクロール乳剤	200mL/10a散布	1回	86日 77日	圃場A:<0.01/-/- 圃場B:<0.01/-/-
かぶ (根部)	2	45%メトラクロール乳剤	200mL/10a散布	1回	86日 77日	圃場A:<0.01/-/- 圃場B:<0.01/-/-
キャベツ (葉球)	2	45%メトラクロール乳剤	300mL/10a散布	1回	45日 64日	圃場A:<0.005/-/- (#) 圃場B:<0.005/-/- (#)
キャベツ (葉球)	2	30%メトラクロール水和剤	300g/10a散布	1回	61日 46日	圃場A:-/<0.01/<0.01 圃場B:-/<0.01/<0.01
はくさい (茎葉)	2	2%メトラクロール細粒剤	5kg/10a散布	1回	45日 47日	圃場A:<0.01/<0.01/<0.01 (#) 圃場B:<0.01/<0.01/<0.01 (#)
たまねぎ (鱗茎)	2	30%メトラクロール水和剤	400g/10a散布	1回	85、102日 86、110日	圃場A:<0.01/-/- (#) 圃場B:<0.01/-/- (#)
たまねぎ (鱗茎)	2	2%メトラクロール細粒剤	5kg/10a散布	1回	176日 179日	圃場A:<0.005/-/- (#) 圃場B:<0.005/-/- (#)
にんじん (根部)	2	45%メトラクロール乳剤	300mL/10a散布	1回	116日 115日	圃場A:0.01/-/- (#) 圃場B:<0.01/-/- (#)
にんじん (根部)	2	30%メトラクロール水和剤	300g/10a散布	1回	162日 119日	圃場A:0.005/-/- (#) 圃場B:<0.01/-/- (#)
うど (軟化茎葉)	2	25%メトラクロール水和剤	400mL/10a散布	1回	235日 235日	圃場A:<0.01/-/- (#) 圃場B:<0.01/-/- (#)
べにばないんげん (豆)	2	30%メトラクロール水和剤	400g/10a散布	1回	132日 123日	圃場A:<0.05/-/- 圃場B:<0.05/-/-

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を実施し、それぞれの試験から得られた残留量。

（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に関する意見具申」）

表中、最大使用条件下作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合のみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（）内に記載した。

(#) これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお適用範囲を超える試験条件を斜体で示した。例：500mL/10a

メトラクロールおよびS-メトラクロール海外作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件			最大残留値 (ppm)	
		剤型	使用量・使用方法	回数 経過日数		
とうもろこし (乾燥種実)	6	854 g/L S-メトラクロール 乳剤	2 lb ai/A(2.24 kg ai/ha) 土壌処理 + 2 lb ai/A(2.24 kg ai/ha)散布	2 回	104	圃場 A:<0.08
					100	圃場 B:<0.08
					127	圃場 C:<0.08
					107	圃場 D:<0.08
					95	圃場 E:<0.08
					94	圃場 F:<0.08
	2	854 g/L S-メトラクロール 乳剤	3 lb ai/A(3.36 kg ai/ha) 土壌処理 + 3 lb ai/A(3.36 kg ai/ha)散布	2 回	104	圃場 A:<0.08(#)
					100	圃場 B:<0.08(#)
	5	872 g/L メトラクロール乳 剤	3 lb ai/A(3.36 kg ai/ha) 土壌処理 + 3 lb ai/A(3.36 kg ai/ha)散布	2 回	100	圃場 A:<0.08(#)
					127	圃場 B:<0.08(#)
					107	圃場 C:<0.08(#)
95					圃場 D:<0.08(#)	
94					圃場 E:<0.08(#)	

農作物	試験圃場数	試験条件			最大残留値 (ppm)	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
とうもろこし (乾燥種実)	6	7.64 lb/gal (915g/L) S-メト ラクロール乳剤	1081 g ai/A(2.66 kg ai/ha)土壌処理 + 608 g ai/A(1.50 kg ai/ha)散布	2 回	116	圃場 A:<0.08
					109	圃場 B:<0.08
					83	圃場 C:<0.08
					116	圃場 D:<0.08
					98	圃場 E:<0.08
					114	圃場 F:<0.08
	1		5405 g ai/A(13.3 kg ai/ha)土壌処理 + 3040 g ai/A(7.48 kg ai/ha)散布	2 回	114	圃場 A:<0.08(#)
	4	6.1 lb/gal (730 g/L) S-メト ラクロール乳剤	1081 g ai/A(2.66 kg ai/ha)土壌処理 + 608 g ai/A(1.50 kg ai/ha)散布	2 回	116	圃場 A:<0.08(#)
					109	圃場 B:<0.08(#)
					83	圃場 C:<0.08(#)
					98	圃場 E:<0.08(#)
	5	5.5 lb/gal (660g/L) S-メト ラクロールマクロ カプセル剤	1081 g ai/A(2.66 kg ai/ha)土壌処理 + 608 g ai/A(1.50 kg ai/ha)散布	2 回	116	圃場 A:<0.08(#)
					109	圃場 B:<0.08(#)
					83	圃場 C:<0.08(#)
					116	圃場 D:<0.08(#)
98					圃場 E:<0.08(#)	



農作物	試験圃場数	試験条件			最大残留値 (ppm)	
		剤型	使用量・使用方法	回数 経過日数		
大豆 (乾燥子実)	4	87.2%メトラクロール乳剤	4.0 lb ai/A(4.48 kg ai/ha) 土壌処理	1 回	169	圃場 A:0.04(#)
					127	圃場 B:0.24(#)
					134	圃場 C:0.05(#)
					146	圃場 D:0.03(#)
	4	85.4%S-メトラクロール乳剤	2.67 lb ai/A(2.99 kg ai/ha) 土壌処理	1 回	169	圃場 A:<0.08(#)
					127	圃場 B:0.13(#)
					134	圃場 C:0.05(#)
	2	85.4%S-メトラクロール乳剤	4.0 lb ai/A(4.48 kg ai/ha) 土壌処理	1 回	169	圃場 A:0.03(#)
					127	圃場 B:0.27(#)

農作物	試験圃場数	試験条件			最大残留値 (ppm)	
		剤型	使用量・使用方法	回数 経過日数		
大豆 (乾燥子実)	20	82.5%S-メトラクロール乳剤	1.33 lb ai/A(1.49 kg ai/ha) 土壌処理	1 回	92	圃場 A:<0.08(#)
					91	圃場 B:<0.08(#)
					90	圃場 C:<0.08(#)
					92	圃場 D:<0.08(#)
					90	圃場 E:<0.08(#)
					91	圃場 F:<0.08(#)
					91	圃場 G:<0.08(#)
					90	圃場 H:<0.08(#)
					93	圃場 I:<0.08(#)
					104	圃場 J:<0.08(#)
					69, 76, 83, 90, 97	圃場 K:<0.08(#)
					90	圃場 L:<0.08(#)
					91	圃場 M:<0.08(#)
					70, 77, 84, 93, 100	圃場 N:<0.08(#)
					92	圃場 O:<0.08(#)
					90	圃場 P:<0.08(#)
					90	圃場 Q:<0.08(#)
	86	圃場 R:<0.08(#)				
	93	圃場 S:<0.08(#)				
	90	圃場 T:<0.08(#)				
2				1 回	91	圃場 A:<0.08(#)
					91	圃場 B:<0.08(#)
2				1 回	91	圃場 A:<0.08(#)
					91	圃場 B:0.03(#)